

❖ お薬手帳用シールの例

慢性に続く痛みをやわらげるお薬です。
定期的に服用することによって、痛みのない状態を維持することができます。
痛みがなくなった後も、医師の指示通りに服用してください。

いつもは痛みが治まっても、突然痛み始めたり、お薬の効果が切れ始めると、痛みが強くなってきたりすることがあるかもしれません。
痛みの状態は周りからはわかりません。ご自分の痛みを把握し、痛みのコントロールが十分でない時は、すぐに医師、薬剤師に相談してください。

痛みにはいろいろな種類があります。
“刺すような、しびれるような、つっぱるような、焼けるような、電気が走るような痛み” “ちょっとさわったり、押しただけで現れる痛み” などに対しては、このお薬だけでは十分でないこともあります。痛みが治まらない時は、ご相談ください。

排尿障害に注意してください
尿道の筋肉の緊張を高めるため、排尿障害が起こることがあります。尿が出にくかったり、出るのに時間がかかったりといった症状にご注意ください。

便秘に注意してください
便秘、吐き気などの副作用が発現する可能性があります。食生活に気をつけたり、お薬を併用することで対応できます。

車の運転など、危険を伴う機械の操作はしないでください
眠気、めまい、意識消失などの副作用が発現する可能性があります。眠気を感じなくても注意力が低下しているおそれもあります。車の運転はしないでください。

自己判断で、他の鎮痛薬を併用するのは危険です
このお薬はトラマドール・アセトアミノフェンの配合薬です。市販薬の痛み止めの中には、アセトアミノフェンを含むものがたくさんありますが、両方をあわせてのむとアセトアミノフェンが過量となり、重篤な肝障害を引き起こされる危険性が非常に高くなります。
痛みが治まらないとき、痛みのコントロールに満足できない時は、まず医師、薬剤師に相談してください。